

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 30 日現在

機関番号：43701

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26420635

研究課題名(和文) アメリカの中西部開拓での農村計画の研究

研究課題名(英文) Study for Planning Method of Township System at the Period of Middle Western District Reclamation in the United States

研究代表者

柳田 良造 (YANAGIDA, RYOZO)

岐阜市立女子短期大学・その他部局等・名誉教授

研究者番号：70510460

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は北海道開拓での殖民区画制度に影響を及ぼしたタウンシップ制度等によるアメリカ合衆国の中西部開拓の計画論と開拓の展開過程をさぐり、我が国の開拓事業への影響を明らかにするものである。

成果ではアメリカでの現地調査をもとにタウンシップ制度についてその誕生の経緯と計画の内容と変遷を追い、ミネソタ州南部のカウンティをモデルに開拓の進展過程とそこでの空間計画の計画原理を明らかにした。さらにアメリカでの調査からヒントを得て北海道開拓での市街地形成過程について、国見と選地、基軸・基点、都市農村計画、川港と鉄道駅、市街地のスケール、心的拠り所としての丘陵、グリッドパターンの7つの計画原理を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This study investigates the planning theory by the township system at the reclamation of midwestern district of the United States, which had an influence on the Hokkaido reclamation. As result, I clarified the plan of the birth and the theoretical establishment process about township system based on a fieldwork in the midwestern district of the United States. And I clarified the principle of planning process of the reclamation and the space plan there by the case study in a county in southern Minnesota. Furthermore, I clarified seven plan principles about a city planning process at the Hokkaido reclamation by the hint from an investigation in the United States. Seven plan principles are Kunimi and a choice place, a key axis and a basic point, a rural-urban development planning, river port and a railroad station, the scale of the city area, the hill as the mental support, grid patterns.

研究分野：農村計画、都市計画

キーワード：開拓 農村空間構造 アメリカ中西部 タウンシップ 農村景観 市街地空間構造 北海道 近代

1. 研究開始当初の背景

19世紀の北海道開拓にも影響を及ぼしたアメリカの中西部開拓でのタウンシップ等の開拓の計画手法について歴史学、地理学等のその言及は多いが、空間計画の実態や形成された地域農村空間等、具体的な姿についてはほとんど紹介されていない。また研究テーマとして関連する建築学や農学などの分野でも、その研究ほとんど進んでいない。

2. 研究の目的

申請者は「近代期における開拓と農村地域空間の形成の研究」で2013年度日本建築学会賞(論文)を受賞した。北海道の近代期の開拓とは何か、地域形成の空間計画とは何かを問うた論考であるが、学会賞の評価のひとつに、開拓の研究が日本の近代期とほぼ同時期に行われたアメリカやオーストラリア等の新大陸での開拓の計画手法(タウンシップ等)と比較しうる国際的な研究視点、研究領域を獲得した点があるとされたが、北海道開拓にも影響を及ぼしたタウンシップ等の開拓の計画手法について、日本ではほとんど紹介されていない。

アメリカ開拓でのタウンシップ制度による具体的な農村計画手法と農村地域空間(集落形成や農地区画)の実態を現地調査と文献資料から明らかにし、その空間計画や制度が、我が国の開拓事業にどのように受容され、影響したかをさぐるものである。そこから、我が国の近代の開拓計画手法の特徴や課題等を浮き彫りにしつつ、アメリカ開拓の手法についても、比較から再評価を試みるものである。この事を通して、日本近代期の開拓事業での欧米の近代技術の受容は、どのような特徴をもち、その後の日本の地域計画や農村計画の流れにどのような影響を及ぼしたのかを地域空間形成の視点から明らかにするものである。

3. 研究の方法

フィールド調査と文献調査から、アメリカ中西部開拓でのタウンシップ制度による農村地域空間形成が、実際の現場でどのように進んだかを、ミシシッピ川以西で数カ所の調査地点を設定し、その事業計画、空間計画を明らかにする。特に北海道と気候、開拓時期が比較的近い近いミネソタ州南部をケーススタディとして取り上げ、調査地点が現在に至る開拓の過程でどういう農村地域、環境、景観が形成されたかをさぐる。また事業の背景にあった土地制度や道路、鉄道などの社会的インフラ整備と開拓事業の関係も合わせて明らかにする。分析の方法は、我が国の近代期の開拓農村研究を行ってきた知見を活かしながら、それらとの比較による手法を使う。それらの分析を通して近代期におけるタウンシップ制度によるアメリカの中西部地域の農村開拓の意味、我が国近代期の開拓との比較による位置づけ、再評価を試みる。

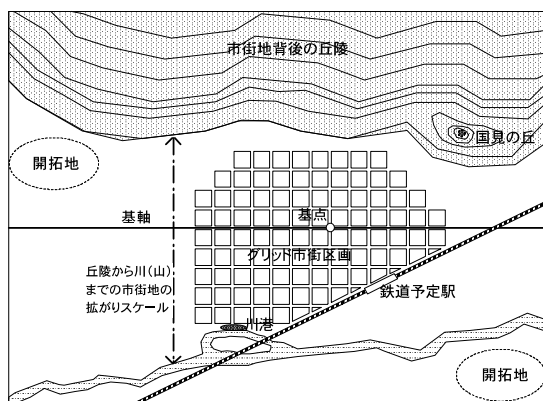
4. 研究成果

本研究は北海道開拓での殖民区画制度に影響を及ぼしたタウンシップ制度等によるアメリカ合衆国の中西部開拓の計画論と開拓の展開過程をさぐり、我が国の開拓事業への影響を明らかにするものである。

成果ではアメリカの中西部地域(ミネソタ、ミズーリ、カンザス州)での農村地域の現地調査と資料収集調査をもとにタウンシップ制度についてその誕生の経緯と開拓地域の土地区画計画の変遷過程を追い、アメリカ開拓期の地域空間計画の計画原理の特徴を明らかにした。つぎに北海道と気候、開拓時期が類似するミネソタ州南部のコットンウッドカウンティ(郡)をケーススタディし、その地域の開拓の進展により、どのような農村環境、景観が形成されたか、また小学校や協会等の施設配置と開拓の進展過程の関係をさぐり、そこでの空間計画の計画原理を明らか

にした。また開拓の進展過程で果たした鉄道の役割と、鉄道沿線上に展開した市街地の意味とその形成過程も明らかにした。特に市街地の位置についての立地上の環境的特徴、市街地空間の軸としてのメインストリートの意味を明らかにした。

さらにこれらアメリカ中西部地区での現地調査をもとにヒントを得て、北海道開拓での市街地形成過程について、その計画原理をさぐる論考をまとめた。その内容は明治期の北海道開拓において計画された市街区画について札幌本府、重要港湾都市網走、内陸拠点の空知太、屯田兵番外市街地の江別、殖民区画の計画市街地の富良野、入植後形成された今金、の各市街地形成について、計画の分析を行い、そこから、それぞれに通底するものとして7つの計画原理を明らかにすることができた。7つの計画原理とは国見と選地、基軸・基点の設定、都市農村計画、川港や鉄道駅を核、市街地のスケール、心的拠り所としての丘陵、グリッドパターンの7つである。それらを元に北海道開拓での市街地形成の計画原理をモデル図として示すことができた。



北海道開拓での市街地形成計画原理モデル図

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

柳田良造、北海道開拓期における市街地形成の計画原理、日本建築学会計画系論文集 No.725、p1515~1523、2016、査読有

柳田良造、タウンシップとメインストリート - アメリカ中西部開拓調査の旅から -、岐阜市立女子短期大学紀要第64輯、P67-74、2015

[学会発表](計0件)

[図書](計1件)

柳田良造『北海道開拓の空間計画』北海道大学出版会、B5版358P、2015

[産業財産権]

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

柳田 良造 (YANAGIDA Ryozo)
岐阜市立女子短期大学名誉教授
研究者番号：70510460

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者 ()